

産業競争力懇談会（COCN）2011年度推進テーマ
活動企画書（scope of work）

【候補テーマのタイトル】

都市づくり・社会システム構築

【提案企業・大学・法人】

トヨタ自動車

【提案内容】 プロジェクト or **研究会**（該当に○）

1. 提案の背景・理由

- ・都市づくり・社会システムの構築には、スマートグリッド等によるエネルギー管理システムが不可欠であり、産業、自治体、住民などの地域が一体となった取り組みが必要。
- ・また、こうした社会システムをビジネスモデルとして成功させるためには、導入補助、インフラ整備、場合によっては法改正等も実行されるべく、総合的で一貫した取り組みが必要。

2. 産業競争力強化上の目標・効果

- ・COCNでは、産業界からのプロジェクト提案を国のプロジェクトとして、研究開発から実用化に至るロードマップに基づき活動しているが、本テーマでは現在進行中の「愛知県豊田市における『家庭・コミュニティ型』低炭素都市構築実証プロジェクト」をモデルケースとしてとりあげ、具体的な事象をベースにして、その実用化・運用化における課題を明確化し、対応の方向について検討して集約、一般化する。

3. 提言（報告）に向けての検討内容

① 2010年度に抽出した課題に関する対応策の検討

- i. 低炭素社会システム構築実証の目標達成に関わる課題と対応の方向
 - ・CO₂削減目標に関する効果評価方法の検討
 - ・ユーザ自身が低炭素社会システムを選択する仕組みの検討
 - ・実証のためのセンター運営に関わる課題の検討
- ii. 社会システムの実運用体制とビジネスモデルにかかわる課題と対応の方向
 - ・社会システム実運用体制の検討
 - ・ビジネスとして成立しうる事業スキームの検討
 - ・社会システムサービスビジネス参入時の競争戦略の検討
- iii. 社会システムのグローバル展開における課題と対応の方向
 - ・市場に対応した海外展開
 - ・国際標準規格への対応および日本の強みを生かした標準化戦略の検討
 - ・海外技術者と外国人潜在ユーザの受け入れ環境の整備

② 2011年度の実証開始に伴って明確になってくる課題の抽出と対応の方向

- ・システム構築、実証プロジェクト参加者募集及び、実証開始に伴って明らかになる課題等

③ 震災対応の課題の抽出と対応の方向

- ・ 交通物流エネルギーの視点で震災からの「復興と再生」に貢献できる提言

4. 推進体制

リーダー（事務局）：

- ・ トヨタ自動車

想定されるメンバー（会員・非会員）：

- ・ トヨタ自動車（会員）
- ・ 中部電力（非会員）
- ・ デンソー（非会員）
- ・ 富士通（会員）

5. 大日程（予定）

- 11年 6月 プロジェクト発足
- 6～8月 2010年度抽出課題対応策の深堀検討
- 8～9月 関係者ヒアリング調査・情報収集
- 10月 中間報告
- 11～12月 2011年度の課題に対する対応策の検討と報告書作成
- 12年 2月 最終報告

以上